

定期的なサルモネラ検査 実施していますか？



サルモネラ症は、

サルモネラ属菌の感染によって起こる人獣共通の病気です。サルモネラ菌は自然界に広く生息し、鶏、豚、牛、犬、猫などの多くの動物の腸管に存在します。

サルモネラの伝播

- ◎介卵感染 (in egg)
- ◎飼料からの感染
- ◎導入ヒナからの感染
- ◎環境からの感染

サルモネラは乾燥に強く、羽毛・糞便・塵埃中で数ヶ月以上生存可能です。

ネズミ、衛生害虫、野鳥、さらに人間によっても媒介されます。

※感染鶏は強制換羽などのストレスによって排菌率が高まります。

防除対策

◎農場への侵入防止

- ・農場、鶏舎の**入り口に消毒槽**を設置しましょう。
 - ・鶏舎ごとに**専用の履き物**を設置しましょう。
 - ・適切な衛生管理を行っている種鶏場から導入しましょう。
- その際、必ずサルモネラの陰性証明書をもらいましょう。

◎農場の衛生管理

- ・鶏舎単位で**オールイン・オールアウト**しましょう。
- ・ネズミ等の**野生動物・衛生害虫を駆除**しましょう。



家畜保健衛生所ではサルモネラ検査を実施しています！

定期的にサルモネラの衛生検査を実施し、農場の清浄性を確認しましょう。

～ 詳しくは裏面をご確認ください ～



検査に関するお問い合わせは山梨県西部家畜保健衛生所まで
電話・・・0551-22-0771 FAX・・・0551-22-6728
夜間、土日・休日の連絡は・・・090-5564-1018

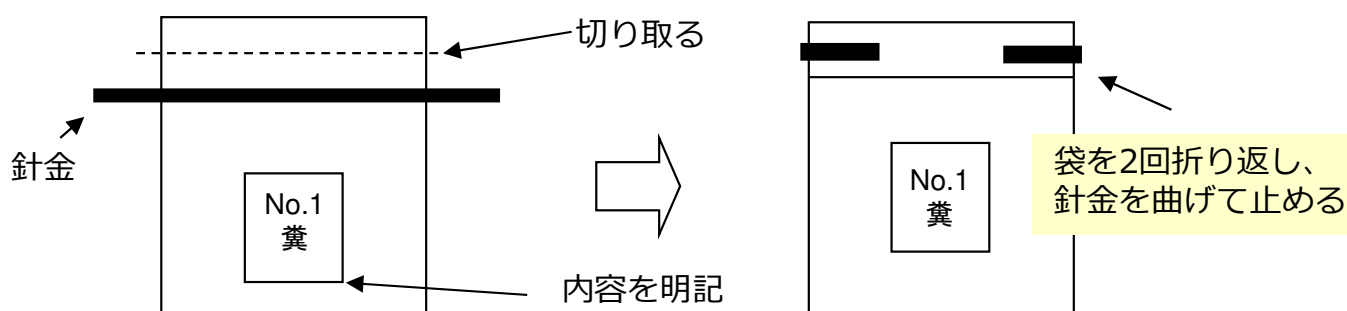
サルモネラ検査

※検査を希望される場合には、事前に当所までご連絡下さい。



○検体の採材方法

- ・滅菌袋は上部の切り取り線から切り取って袋の状態にして使用してください。
- ・1検体を1袋にして滅菌袋に入れて、滅菌袋の口を2回くらい折り曲げてから、軽く針金部分を内側に折って下さい。
- ・採材した滅菌袋には、内容がわかるようにマジックで明記して下さい。



<各材料の準備>

- ・鶏舎内塵埃：換気口、換気扇の付着塵埃など数カ所から1 g 以上採材してください。
- ・クロアカスワブ（総排泄腔）：綿棒をクロアカに入れ、直腸内の糞便を採材してください。（1検体5羽）
- ・盲腸便（茶色の便）：ケージ鶏舎の場合は1列ずつ5カ所程度採材してください。
平飼い鶏舎の場合は5羽分を1検体として採材してください。
- ・拭き取りおよび牽引スワブ：濡らしたガーゼで採材し、1検体あたりガーゼ2枚までを滅菌袋に入れてください。
- ・ヒナ輸送箱敷料：糞便等で汚れているところを1 g 以上採材し、輸送箱2箱分を1検体としてください。※敷料は汚れていても軽いため確実に1 g 以上採材してください。
- ・鶏卵：1 検体あたり 10 個用意してください。
※殻が薄い卵は検査時に割れてしまい検査ができなくなる恐れがあります。

◎その他、飼料や飲用水、床面等の検査も可能です。

○家畜保健衛生所への持ち込み

- ・検査材料
- ・検査申請書：所定の申請書にご記入ください。
- ・検査手数料：1検体あたり460円
- ・検体リスト
- ・その他：日齢、鶏種及び鶏舎見取り図の添付（鶏舎内の採材場所などを記載したもの）

○検査結果

結果判明までに1～2週間かかります。結果は郵送でお送りいたします。

※陽性が出た場合は別途、お電話にてご連絡し、追加検査のご案内をする場合があります。